

シルバーたいとう センターだより No.112

発行 公益社団法人台東区
シルバー人材センター
編集 総務・広報委員会
台東区小島1-5-5
電話 3864-3338
FAX 3864-3383
アドレス <http://www.sjc.ne.jp/taito/>
メール taito@sjc.ne.jp
発行日 平成25年7月15日
会員数 974人(25年2月末日現在)

平成25年度 定時総会開催



六月二十一日(金)午後二時から平成二十五年度定時総会が生涯学習センターミレニアムホールにおいて、会員二百七十一名の参加(他委任状三百六十六名)を得て開催されました。

佐々木理事の司会で定刻どおりに始まり、瀬崎会長から、今後高齢化の度合いは一層高まり、高齢期における仕事や社会参加、生きがいある生活のあり方などますます大きな課題となる中で、当センターの役割をしっかりと踏まえ、会員の皆様と共に活力ある地域社会づくりに貢献する旨の強い決意が示されました。また、議案として提出した平成二十四年度決算報告のほか役員を選任案について、ご審議の上、ご了承をお願いしたいとの挨拶がありました。

続いて吉住区長(名誉会長)代理の中沢福祉部長から、センターが高齢者福祉の増進や区の発展に尽力されていることに感謝するとともに、区としても東京スカイツリー開業以来、台東区を訪れる観光客も大変多くなっており、これを機に台東区をこれまで以上に、東京を代表する国際観光エリアとして世界に発信して参りたいとの挨拶がありました。

その後、瀬崎会長から会員10年表彰と役員表彰の授与がされました。来賓の台東区議会議長代理の石川義弘副議長からは、働く意欲と能力を持つた高齢者が、雇用や就業の場を得ることは、生きがいや社会参加において大切であり、同時に、社会全体の活力を維持する上で大変重要とのお指摘がありました。また、会員皆様方が、長年培ってきた知識や経験を積極的に地域の中で生かしていただくことこそ、これからの社会にとってふさわしい姿勢のお言葉をいただきました。

続いて、東久仁子区議会保健福祉委員長、中沢陽一福祉部長、梶靖彦高齢福祉課長の紹介の後、来賓の方々には退席され、瀬崎仮議長(会長)の開会宣言、資格審査の後、辻理事を議長として選任の後、議事がつつがなく進められました。

審議された議案は、次の通りです。

監査報告

第一号議案 平成二十四年度一般会計決算について

第二号議案 役員を選任について

各議案とも、満場一致で決議されました。

併せて、平成二十四年度の事業報告がなされ、満場一致で了承されました。

新会長の紹介



野田沢新会長

六月の定時総会を経て、台東区シルバー人材センター会長に就任した野田沢です。シルバー人材センター事業は、高齢者が就業を通じて社会参加を行い、活力ある地域社会づくりに目指すものです。

いわゆる団塊の世代の方々も六十五歳前後になり、益々高齢化が進展する中で、会員の方の希望する就業機会を確保し、皆様とともにシルバーセンターの発展、充実に努めて参りたいと存じますので、宜しくお願いいたします。

〈野田沢新会長の経歴〉昨年十月まで台東区教育長を二期八年勤められ、現在、台東区社会福祉事業団副理事長でもあります。

表彰者名簿

定時総会の席上で、次の方々が表彰されました。誠におめでとございます。

・会員表彰（10年） 柿沼昇さん、市村嘉彦さん、山本良作さん、西澤紀男さん、鶴田喜美子さん、寺尾モンさん、國島勇さん、早坂三雄さん、川村昌子さん、竹内滉さん、植竹紀行さん、沼田スミエさん、飯塚悦子さん、松崎加代子さん、黒主義一さん、中島利男さん、市村テル子さん、宮崎俊光さん、佐々木公明さん、大金須賀さん、村山肇さん、高野守さん、小貫裕志さん、青田実さん、藤井満男さん、飯塚澄子さん、望月千登子さん、加藤英一さん、黒澤保さん、並木宏彰さん、面谷哲亨さん、吉良ゆり子さん、柴田和彦さん 以上33名

・役員表彰（退任） 副会長 山崎俊男 さん



副会長 山崎俊男さん

理事会だより

第一回理事会

（平成二十五年四月二十三日開催）

審議事項

- (1) 会員の入退会について
 - (2) 安全管理委員会設置規程の改正と二五・二六年度安全管理委員について
 - (3) 相談役の選任について
- 報告事項
- (1) 平成二十五年三月分の事業実施状況について
 - (2) 松本監事の辞任について

第二回理事会

（平成二十五年五月二十一日開催）

審議事項

- (1) 会員の入退会について
 - (2) 平成二十四年度事業報告について
 - (3) 平成二十四年度一般会計決算について
 - (4) 定時総会次第と役割分担について
 - (5) 定時総会の記念品について
 - (6) 特別会員の推薦及び承認について
 - (7) 役員を選任（理事・監事候補者）について
 - (8) 議決権の代理行使（委任状）について
- 報告事項

第二回理事会

（平成二十五年六月十一日開催）

協議事項

- (1) 監査報告について
- (2) 平成二十五年四月分の事業実施状況について
- (3) 会員の表彰について

臨時理事会

（平成二十五年六月二十一日開催）

審議事項

- (1) 会長、副会長、常務理事の選任について
- (2) 会員の入退会について
- (3) 理事会専門委員会の構成について
- (4) 相談役の選任について

委員会だより

第一回総務・広報委員会

（平成二十五年五月十三日開催）

- (1) 定時総会の運営担当について
- (2) 定時総会の記念品について

第二回総務・広報委員会

（平成二十五年六月二十七日開催）

- (1) センターだより七月号の発行について

第一回安全管理委員会

（平成二十五年六月二十七日開催）

- (1) 平成二十四年度安全就業計画の実施状況について
- (2) 平成二十四年度安全対策推進員の巡回指導実施状況について
- (3) 平成二十五年安全就業計画について



新役員体制の紹介

平成25年度定時総会及び臨時理事会において、新役員体制が決定しました。

役職 氏名 適用
 理事 野田沢忠治 新任(会長)
 理事 佐伯 正則 再任(副会長)
 理事 石森 弘 再任
 理事 佐々木良子 再任
 理事 河野テル子 再任
 理事 辻 義興 再任
 理事 増村 賢二 再任
 理事 金子 時男 再任
 理事 中村 康雄 新任
 理事 新島 一夫 再任(常務理事)
 監事 鈴木 隆幸
 監事 梶 靖彦 新任
 ※任期は理事二年、監事四年です。なお、前会長瀬崎氏と前副会長山崎氏は定時総会をもって理事を退任されました。長い間お疲れ様でした。ありがとうございました。

平成二十四年度決算

事業概要

平成24年度の事業運営については、基本方針及び事業実施計画に基づき、事業の普及啓発に努めるとともに、引き続き、毛筆筆耕、パソコン、折り紙の講習会を開催するなど活動の幅を広げました。

また、当法人は、公益社団法人として二年目を迎え、会員の知識及び経験を活かせる就業並びに社会奉仕活動を積極的に推進し、自主・自立、共働・共助というシルバー事業の理念のもと、働く意欲を持った健康な高齢者が地域社会に貢献できるシルバー人材セン

ターの構築に努めてまいりました。その実績は、年度末の会員数974人、年間就業63.2%、受託件数(月延)2,407件、就業延人員69,972人、配分金支給額で264,847千円、年間契約金額281,586千円でした。前年度の実績と比べると、各指標ともに実績を伸ばすことが出来ました。(平成23年度収支決算 別紙のとおり)

平成24年度収支決算

科目	公益目的事業会計	法人会計	計
経常収益	344,029,890 円	7,777,201 円	351,798,001 円
受託事業収益	278,592,782 円	1,437,313 円	280,030,095 円
独自事業収益	1,551,452 円	4,548 円	1,556,000 円
受取会費	695,325 円	231,775 円	927,100 円
受取補助金等	61,486,025 円	6,042,892 円	67,528,917 円
受取負担金収益	544,000 円	0 円	544,000 円
特定資産運用益	3,592 円	266 円	3,858 円
雑収益	1,147,714 円	60,407 円	1,208,121 円
経常費用	343,604,086 円	7,777,201 円	351,381,287 円
事業費	343,604,086 円	0 円	343,604,086 円
管理費	0 円	7,777,201 円	7,777,201 円
当期経常増減額	416,804 円	0 円	416,804 円
当期一般正味財産増減額	416,804 円	0 円	416,804 円
一般正味財産期首残高	33,188,229 円	3,047,182 円	36,235,411 円
一般正味財産期末残高	33,605,033 円	3,047,182 円	36,652,215 円

会員を希望される方は

- 区内在住で原則六十歳以上の健康で働く意欲のある方
 - シルバー人材センターの趣旨に賛同した方
 - 入会の説明を受け(毎月第三木曜日入会説明会開催)、入会申込書を提出した方(理事会の入会承認が必要)
 - 定められた会費を納入された方
- ※仕事中や仕事先への往復時に怪我をした場合は、シルバー団体傷害保険が適用されます。

七月は安全就業強化月間です

東京しごと財団では、本年度も七月を安全就業強化月間として様々な安全対策事業を実施します。当センターでは六月二十七日に安全管理委員会を開催し、二十五年度の安全就業計画や、七月から来年二月までの安全支援員による就業場所の巡回計画を策定しました。平成二十四年度の都下のシルバー人材センターの発生傷害事故は五百五十五件で、主な傾向は以下の通りです。

- (1) 就業中の傷害事故は三百六十四件で前年度よりも七件増加(前年度比1.96%増)となりました。事故を原因別にみると「転倒」が最も多く百七十七件発生しました。次いで「墜落・転落」が六十八件、「有害物等との接触」が四十九件と続いています。この傾向は前年度と同様です。
- (2) 就業途上の傷害事故は百八十一件で、前年度よりも十件減少(前年度比5.73%減)となりました。交通手段別にみると例年と同様、依然として自転車利用時の事故が百二十三件で圧倒的に多く、就業途上事故の67.9%を占めています。事故の件数自体は前年度比6.81%減少しました。
- (3) 重篤事故
 死亡事故が四件発生しました。(前年度は二件)以上のように数多く事故が発生しています。○台東区の事故発生(入院三十日以上)は、次の二件です。
 ①就業中、階段で誤って左足を滑らせ転倒し骨折、三十日入院
 ②就業先から帰宅中、信号機の無い交差点ですれ違い様転倒し左手骨折、三十日入院
 ○健康には常に注意して無理せず安全就業を心がけましょう。就業場所への交通手段としての自転車の利用には、交通ルールを守り、周囲の状況を確認しましょう。

平成二十五年度安全就業標語

最優秀作品

「慣れるほど 初心に返れ その仕事」
「まず止まり 譲るゆとりに 事故はなし」

折り紙塾が開かれました



五月二十八日(火)、午前
十時よりシルバー人材セ
ンター会議室において折
り紙の講習会が開かれま
した。当日のテーマは、花
のアンズリウムでした。楽
しく折り紙の技術を勉強
しています。



ボランティア

六月十三日(木)午後一
時三十分、特別養護老人
ホーム浅草五階、あさくさ
高齢者在宅サービスセン
ターで折り紙塾が開かれ
ました。七名のシルバー人
材センターの会員の方々
(宮沢満里子リーダー、松
下晃子さん、池田美子さ
ん、北原美幸さん、大出秀子さん、鈴木清美さ
ん、小尾加谷子さん)がボランティアで参加し、
皆さんと一緒に楽しく折り紙を折りました。優
しさといったわりを感じる折り紙塾でした。



毛筆筆耕講習会が開かれました

六月十一日(火)、小島社会教育館ホールにお
いて、午前十時より「法人名、住所を書く」を

テーマに毛筆筆耕の講習
会が開かれました。名川
講師のもと熱心に勉強し
ました。会員を対象とし
た毛筆筆耕講習会に是非
ご参加ください。

パソコン講座



パソコン講座は毎月開
催しています。七月は①エ
クセル初級講座、②写真の
整理と印刷です。詳しくは
「広報たいとう」をご覧ください。



川柳教室が開かれました

五月二十二日(水)、シル
バー人材センター会議室
において、十時より川柳教
室が開かれました。講師は
内田博柳(台東川柳人連盟
理事長)さんです。五七五
に自分の気持ちをどのよう
に表現したらよいか、なご
やかに勉強しています。



投稿写真

石森弘さん撮影



上野公園東照宮のボタン



上野竹の台広場 さつきフェスティバル

事務局職員の異動

四月一日付けの人事異
動で特別養護老人ホーム
谷中施設長を勤められた
大高和明さんが事務局次
長に就任されました。よ
ろしくお願いいたします。よ
ろしくお願ひいたします。なお、前任の岩仲
清事務局次長は退職されました。



大高次長

未就業会員の方へ

九月にシルバーパス交付事務があります。
募集人員は約四十名で、お一人六日程度の就
業を予定しています。申し込みの期限は、七
月三十日(火)です。希望される方は、事前
説明会(八月十四日(水))の参加が必要です。
なお、応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。
申し込み・お問い合わせは事務局へ

シルバー人材センターへの
要望・提案をお聞かせください